Abstract

AROMA RESEARCH　No.52（vol.13/No.4）

植物をもっとグリーンにするー環境負荷を与える揮発性化合物の抑制ー

肥塚崇男、大西利幸、松井健二

〈要旨〉

植物は全球で年間 5-10 億トンもの揮発性化合物を大気中に放散していると試算されている。これは全球レベルでの炭素循環を考えると大きな損失である。近年、植物揮発性化合物生合成・代謝機構に関する研究が目覚ましい進展を果たし、その詳細に明らかになってきた。この成果を適応することで植物を使ってこの損失を抑制する（リダイレクト技術)、あるいは回収する（リクルート技術）ことが可能である。この技術によって地球大気への植物揮発性化合物のネガティブなインパクトを抑制し、環境負荷を低減させることができる。

〈キーワード〉

Plant volatiles, Recruiting, Redirection, Atmospheric chemistry, Carbon cycle

植物由来揮発性化合物、リクルート技術、リダイレクト技術、大気化学反応、炭素循環